

令和5年度食育推進会議 議事録

令和5年10月13日（金）

【開会】

○事務局（熊谷）

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
進行を務めさせていただきます、名取市保健センターの熊谷と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

【委嘱状交付】

○事務局（熊谷）

それでは、令和5年度名取市食育推進会議の開催に先立ちまして、この度、新たに委員となられる6名の方に、委嘱状並びに任命辞令を交付させていただきます。任期は令和6年11月30日までとなります。お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立願います。

2号委員 荒井偉作様

3号委員 渡部順子様、佐々木志穂様

4号委員 本間ひめの様、相澤雅彦様、渡邊義行様

代表受領とさせていただきますので、荒井偉作様、前の方にお進みください。

（代表受領）

お席にお戻りください。

なお、ほかの委員の皆さまにつきましては、あらかじめお手元に配布しておりますので、ご確認をお願いいたします。

以上をもちまして、委嘱状並びに任命辞令への交付を終了いたします。

【資料確認】

○事務局（熊谷）

それでは、会議に入る前に、本日の会議資料の確認をお願いいたします。

本日の次第、委員名簿、本会議条例、「元気なとり」食育プラン（第3次）概要版、元気なとり健康21推進計画概要について、「元気なとり」食育プラン（第3次）最終評価報告書修正版、「元気なとり」食育プラン（第4次）（案）修正版、そして事前に送付させていただいておりました、ご意見書のご準備をお願いしたいと存じます。

なお、第3次最終評価報告書と第4次案につきましては、送付させていただいておりましたが、大変申し訳ございません、修正がございましたので、改めて準備させていただきました。

皆さんメモなど記載している方もいらっしゃるかとは思いますが、合わせて見ていただければと思います。修正した場所につきましては後程ご説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

【開会】

○事務局（熊谷）

それではただいまから、令和5年度名取市食育推進会議を開催いたします。

本日の会議は議員20名中14名の出席があり、本会議条例第6発第2項に規定し、会議開催の条件を満

たしておりますことをご報告申し上げます。また、この会議は、「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき、公開対象の会議となっておりますが、本日の傍聴者はおりませんことを併せてご報告いたします。

それでは初めに、会長から挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

【議長挨拶】

○今野会長

お世話になっております。尚絅学大学の今野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

うちの大学生の方も、いつも名取の皆さんには大数お世話になっておまして、先週の水曜日、NHKのてれまさおねをご覧になった方いらっしゃいませんか。ブラジル原産の赤唐辛子の栽培を、名取市の女性が行っていますという報道でしたけれども、本学の学生も、その生産から一緒に参加させていただき、料理の方もいろいろレシピ開発など参加し、協力してやらせていただいているというところがございます。

横々なところで、本学の学生も名取の地域の方々に、お世話になりながら学んでいる状況にあります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日は、「元気なとり」食育プラン（第3次）の最終評価の報告と、その評価を受けての第4次の策定ということで、大事な会議となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局職員紹介】

○事務局（熊谷）

ありがとうございました。

続いて議事に入る前に、4月1日付人事異動により、事務局職員が変わっておりますので、安倍健康福祉部長より事務局の紹介をいたします。お願いします。

○安倍部長

事務局職員の紹介をいたします。

保健センターの安部所長でございます。矢澤保健師長兼成人保健係長です。奥に行って熊谷保健総務係長です。大内技術主査です。菅原栄養士です。横山栄養士です。長根栄養士です。齋藤栄養士です。わたくし部長の安倍と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【議事】

○事務局（熊谷）

それでは議事に入ります。議事進行につきましては、今野会長にお願いしたいと存じます。会長、よろしくお願いいたします。

○今野議長

はい、それでは座ったまま失礼させていただきます。では議事には入ります。

(1)の報告事項「元気なとり」食育プラン（第3次）最終評価項目について、事務局より説明いたします。

○事務局（大内）

それでは事務局より報告させていただきます。申し訳ございませんが、座ったまま説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは今回お配りしております、「元気なとり」食育プラン（第3次）概要版をお聞きください。
新規委員さんがおりますので、今回はそちらの概要についてまずお話をさせていただきたいと思います。

「元気なとり」食育プラン（第3次）ですけれども、こちらの計画期間は2019年度から2023年度の5年間となっております。

基本方針としまして、「自身の体格や生活スタイルに合わせた健康的な生活を営み、一人ひとりが豊かな食生活を送る」、「食を通じた体験や食文化の伝承を地域や人から学び、豊かな人間性を形成する」の2つの基本方針のもと、右側にあります5つの基本目標を立てております。

続いて、下にいきますが、「名取市における健康状況と食の現状」をご覧ください。

年齢が上がるにつれ、朝食を食べる頻度が減少していることや、どの年代でも野菜摂取量の減少が見られることが、分かっております。

続いて、矢印右側の「健診結果（成人）」をご覧くださいますと、県や全国と比べ、男女ともにメタボ該当者、HbA1c値が高いと判定される割合が高いことが分かっております。

続いて下段、「保健センターの重点課題に対する取組み」をご覧ください。

これらの結果を踏まえ、保健センターでは、「生活習慣病予防（健康寿命の延伸・健康格差の縮小）に繋がる食育の推進」、「ライフステージに合わせた（特に若い世代への）食育の推進」、「地元食材の活用、食文化への理解の醸成」の3つを重点課題とし、各事業に取り組んでおりました。こちらが概要になります。

続きまして、「元気なとり」食育プラン（第3次）最終評価報告についてお話をさせていただきたいと思います。

資料ですけれども、「元気なとり」食育プラン（第3次）最終評価報告書をご覧ください。お手元にございます修正版をご覧くださいいただければと思います。

まず目次をご覧ください。今回は1から7までで項目が出ております。

続いて、1ページ目の「1、最終評価の目的」ですが、本計画の推進状況を確認するためと、第4次計画策定や、今後の効果的な推進方法の指標とするために、こちらを行いました。

続いて「2、調査方法」をご覧ください。

今回、食育に関するアンケートと食育推進状況調査の2つを実施いたしました。

食育に関するアンケートでは、①から⑤、及び当該の保護者を対象とし、アンケートを配布、回収しました。分析については、尚綱学院大学にご協力をいただいております。

続いて、食育推進状況調査ですけれども、こちらは、対象施設・団体に調査を依頼し、調査書を配布、回収いたしました。

続いて「3、食育に関するアンケートの対象者及び回収率」と、次のページにまたがりませんが、「4、食育推進状況調査対象施設・団体及び回収率」をご覧ください。こちら一部訂正がございます。

「3、食育に関するアンケートの対象者及び回収率」ですが、学童・思春期、中学1年生の部分で、修正版では直っておりますが、配布数が160、回収率が85.6となっております。

その次の2ページ目の配布数が1減になりまして3008とさせていただいております。統計の回収率は変動なく75.2%となっております。

「4、食育推進状況調査」については88施設団体に配布しまして、回収率は96.6%という結果となっております。

続きまして、3ページ目、「5、指標に対する達成度」をご覧ください。

「元気なとり」食育プラン（第3次）は、国の食育基本計画や県の食育推進プラン等を踏まえ、基本方

針を2つ、基本目標を5つ、重点課題3つを、表記の通り掲げておりました。

続きまして4ページ目、「計画評価のための項目及び目標値と評価（一覧）」をご覧ください。

評価についてですが、目標達成の項目には○、目標不達成ではあるが改善した項目には△、目標達成の項目には×、評価なしについては、横棒を記載しております。

各項目ですけれども、「朝食を毎日食べる者の割合」ですが、大学生を除く対象者は目標不達成でした。中学生は不達成ではありましたが、平成31年度より1.1ポイント上昇しておりました。

続いて、「主食・主菜・副菜を揃えて食べる者の割合」は、いずれも目標を達成しておりました。こちらの中で、小学4年生をご覧ください。達成状況は統計なし、評価はなしとなっております。

こちらについてですが、最終評価のためのアンケート作成に際しまして、平成31年度の基準値から令和3年度の間値で20%近く下がったことから、事由を検証したところ、小学4年生では、家庭科の授業をまだ行っていない学年であることや、自身で食事をする、食事を用意する機会がほとんどないということなどから、本人がそろえて食べるのが難しいと考え、今回アンケートの項目には盛り込みませんでした。

また大学生のところをご覧ください。こちら、平成31年度は7.3%で、今回の令和5年度は77.2%となっております。平成31年度に朝食・昼食・夕食で主食を食べる、主菜を食べる、副菜を食べるといった項目3つで、アンケートを取ったところですが、朝昼夕すべてでそれぞれ食べる数を計上し算出した結果が8.3%でした。今回のアンケートでは、食事の際に、「主食・主菜・副菜を揃えて食べるようにしていますか」という質問の仕方があったため、今回こちらの数字になったと考えられます。

続きまして、「野菜を1日3皿（210g）以上食べる者の割合」ですが、いずれも目標達成しておりました。

次に、「1日4皿野菜を食べる（280g）以上食べる者の割合」は、中間評価時よりも1.2ポイント下がりました。目標は不達成でした。「野菜を1日5皿（350g）以上食べる者の割合」は、いずれも目標不達成でありました。大学生は不達成ではありましたが、平成31年度より2.5ポイント上昇しておりました。

「減塩を実践している者の割合」ですが、こちらは目標不達成ではありましたが、46.0%と、中間評価時よりも0.2ポイント上昇しておりました。

続いて、「肥満傾向にある子供の割合」ですが、3歳6か月児女子ですけれども、中間評価から1.7ポイント下がっておりまして、目標を達成しておりました。

また、5歳児男子も中間評価より0.5ポイント下がり、目標を達成しておりました。

「肥満者（BMI25以上）の割合」ですが、30～60代男性、40～60代女性ともに、平成31年度より悪化しており、目標は不達成でした。メタボリックシンドローム該当者の割合ですが、40～74歳男女とも平成31年度より悪化しており、目標は不達成でした。

続いて、「地元食材を利用している者の割合」ですが、中間評価時よりも19.6ポイント上昇し、目標を達成しておりました。「学校給食の地産地消の割合」においても、平成31年度より4.6ポイント上昇し、目標を達成しておりました。

最後に、「朝食を週4日以上家族と一緒に食べる者の割合」ですが、小学4年生、中学一年生が目標を達成しておりました。それ以外の対象者は目標達成でしたが、高校生は、平成31年度より0.3ポイント上昇しておりました。

41項目中、達成が15項目、不達成ではあるが改善が4項目、不達成が21項目、評価なしが1項目となっております。

この一覧から、「主食・主菜・副菜をそろえて食べる者の割合」、「地元食材を利用している者の割合」、「学校給食の地産地消の割合」は増加しておりましたが、「朝食を毎日食べる者の割合」や「野菜を必要量食べる者の割合」、「肥満傾向にある子供の割合及び肥満者、メタボリックシンドローム該

当者の割合」を鑑みると、一人ひとりが自身に必要な食事量を知り、適切なタイミングで食べることを学習することが必要であると改めて考えられます。

また、「朝食を週4日以上家族と一緒に食べる者の割合」からも、家庭という単位でも食育が積極的に取り組めるよう、関係機関が連携して、食育の情報発信等の取り組みが必要と改めて伺えました。

続きまして、5ページになります。「6、食育に関するアンケートの結果」になりますが、こちらは食育に関するアンケートを項目ごとに集計したものを、グラフ及び表で示したものです。こちらについては、分析したのもも記載しております。

説明については事前資料で確認いただけるかと思っておりますので、申し訳ございませんが省略させていただきたいと思っております。

続いて、ページ飛びまして、14ページをご覧ください。「7、食育推進状況調査の結果」となっております。

こちらは3歳6か月児、5歳児及び10歳児の肥満度20%以上の割合、学校給食における地場産物の使用割合について記載をしております。こちらにも事前に資料を配付させていただいておりますので、申し訳ございませんがこちらの方も省略をさせていただきたいと思っております。

最後に16ページをご覧ください。こちら「食育に関する活動」についてです。こちらにも修正がございます。修正版の方になりますけれども、小学校、PTA、大学、公民館、農林水産課、東北農政局、保健センターの6項目で、数字の部分に訂正がありました。以前送らせていただいたものと比較していただければと思いますが、訂正版の今回お配りしております資料の方が、新しいものとなっておりますのでこちらでご確認ください。

食育に関する活動は令和5年度中の取組みで見込みを含むものです。ライフステージで見た際には、学童期・思春期の参加人数が多いことから、学校を始め、児童センターや公民館、食育関係機関等において食育を推進する活動が多いことが伺えました。全体の取組みの総数が減少していることについては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してもなお、影響していることが考えられます。

食育は生きる上での基本であり、知育・徳育及び体育の基礎となるものと位置付けられるため、社会の状況に応じた取り組みの継続が必要と考えます。

「元気なとり」食育プラン（第3次）最終評価報告書については以上となります。

○今野議長

ありがとうございました。

ただいま事務局より「元気なとり」食育プラン（第3次）の最終評価報告についてご説明がりましたが、委員の皆様からの質問をお願いいたします。

○宮城県仙台保健福祉事務所 渡部委員

もしわかれば教えていただけたらと思っております。

朝食を毎日食べる物の割合のところで、大学生の値がすごく伸びている点、すごいなと思って、値を拝見させていただいたところですが、増えた要因や、こういう活動したからとか、把握してらっしゃるような要因があれば教えていただければと思っております。

○事務局（大内）

はい。こちらですけれども、要因については細かい部分までは背景として確認できておりません。

こちらについては、食育の部分についての活動を継続して行っておりますので、大学の方にも食育について浸透しているためと考えております。以上です。

○今野議長

他にご質問ございませんでしょうか。
では、私の方からよろしいでしょうか。

4ページの、先ほど説明があった「主食・主菜・副菜をそろえて食べる者の割合」のところで、実際、アンケート結果のところではいいますと、7ページの①・②の結果をこちらに反映させているかと思いますが、7ページを見ますと、こちらが主食・主菜・副菜を揃えて子供の場合は提供される、②の方、大人は自分で揃えて食べる意識なので、もし4ページに書くのであれば、主食・主菜・副菜揃えることは意識しているものの割合だと思えます。

実際の揃えて食べている者の割合となると次のページの8ページ9ページが、③が朝食で主食・主菜・副菜を揃えて食べる頻度、そしてその下が昼食で揃えて食べる頻度、9ページに行って夕食で主食・主菜・副菜揃えて食べる頻度ということで、実際に食べている状況等々については、こちらの調査結果になるかと思えますけど、この朝昼晩分かれているのでどう記載するかなんですけども。

これも先ほどの大学生のところでは数値が大きくなっていてという説明があったと思えます。「意識」というように質問内容が変わったからとご説明をいただいて、ただその通りで、基本的にはこちらの結果になっていると思うんですけども、前は意識ではなかったですね。

○事務局（大内）

はい。こちらについては前回との質問とは異なっております。

前は実際に数字を拾って食べているかどうかという設問で細かく聞いていたところだったので、そこが「意識の数値」と変えられたのかと思えます。

○今野議長

ありがとうございます。他にご質問ありませんか。

それでは、ここで委員の皆様の日頃の食育活動についてもお話いただけたらと思えます。

特に名取市の課題でもある、若い世代への食育についても本年度活動したことや、生活習慣病予防に関する事などありましたらお願いいたします。

○宮城県仙台保健福祉事務所 渡部委員

仙台保健福祉事務所では食育などの活動をしております、渡部と申します。

私どものところでは、対象とするエリアが広く、北は大衡村から南は山元町までエリアになっておりまして、名取市さんもそのエリア内にあるというような状況になっております。

私どものところでは、若い方限定ではないですが、主に働く方を対象にした食育というような活動をしております。

事業者様向けに、11月の1か月間、3人1組で野菜を食べるという取り組みを行っております。

目標を立て、例えば、野菜から食べるとか、朝ご飯に野菜を食べるみたいな4つレベルの目標があり、グループで目標を決めてもらって1か月間、どれだけそれができたかを、事業者さんで活動しませんか、というような活動をして、野菜摂取の増加というような活動をしております。

今募集を終えた頃ぐらいですけど、去年から始まった事業でまだ広まってないというところですが、15ぐらいの事業所さんに参加いただいて、1か月間取り組みをする予定になっております。

その結果なども周知しながら、来年度以降も取り組んでいただくことが増えるようにと思っておりますので、ぜひ名取市の方も参加いただけたらなと思っております。以上です。

○今野議長

ありがとうございます。

それでは、保育園の方からもお聞かせ願います。ゆりが丘保育所栄養士の本間様。

○ゆりが丘保育所 本間委員

ゆりが丘保育所の本間と申します。

保育所の食育では毎日の給食、そしてクラスの給食提供時に野菜などの食材の紹介や、3歳以上に向けてはマナーや姿勢についてなどをお話しています。食育は講話とクッキングに分かれて、3歳以上児に向けて、手洗いや箸のマナーなどの指導、クッキングでは、包丁を使って野菜を切ってカレーを作ったり、栽培したサツマイモでスイートポテトを作ったりしています。

保護者に向けては給食だよりを月に1回発行しており、同じく栄養について・給食等についてなどおたよりを配布しています。

4月と10月には肥満度を計算し、必要に応じて、指導が必要なお子さんがいる場合は担任から保護者へお話しを行っています。以上です。

○今野議長

ありがとうございました。

次に、農林水産課の相澤様もよろしいでしょうか。

○農林水産課 相澤委員

農林水産課の相澤と申します。よろしく申し上げます。

市の農林水産課の方では、食育って言うていいのかわからないですけども、農林水産課では毎年、親子ぐるっと講座ということで、野菜・米関係の収穫なり、田植えもやっています。先週は親子で稲刈りの体験とか、あとは野菜のもぎ取りということで、そちらの体験をしております。

特産ということでせりの収穫体験、直接的に食べるという体験ではないですけども、農林水産課としてはその食材の方の、どういうふうになっているものをどういったふうに育てていくかっていうのを見せながら体験していただいています。

また、今年はやっていませんが、昨年ですね、農村婦人の家で、こちらの方では味噌づくりとか豆腐づくりっていうのを主にやっている施設ですが、そちらの方で子どもを対象にした豆腐づくりを、大豆から豆腐になるまでっていうことでの体験をしています。

あとは農林水産課として米に関しては、各学校の小学校5年生が田植えと稲刈りを行っております。

健全育成会の一部ではサツマイモの収穫などを体験するように、支援している形にはなっております。

実際に食べることに限っては、農林水産課としてはしてはしてませんが、食材の生産に関してやっている状況です。

○今野議長

ありがとうございました。それでは学校教育課の渡邊義行様。

学校の活動などについてお話いただければと思います。

○学校教育課 渡邊委員

学校教育課の渡邊と申します。

具体的な学校の取り組みとなりますと各学校によるところが多くなってございますけれども、学校においては授業であったり特別活動であったり、教育活動全体を通して食育のポイントなど取り組んでいるところではございます。

先ほどの最終評価報告書の説明にもあったように、朝食を食べる割合など小中学生の課題が見られますので、今後も学校等と連携しながら取り組んでいかなければならないなど感じていたところです。具体的なものとしては、どうしても給食中心なので給食センターの計画ということで指導を行っております。

自分たちが食べている給食が、どんな人たちが一生懸命作ってくれているのか、そういった感謝の気持ちも育てるところで取り組んでいるところです。

○今野議長

ありがとうございました。

最後に、地域活動栄養士の熊谷様、お願いいたします。

○地域活動栄養士 熊谷委員

地域活動栄養士の熊谷と申します。

こちらの保健センターの事業として、なとり認定こども園・なとり第二認定こども園にて出張ベジキッズセミナーというものを行いました。

まず野菜の必要性の話として、食べ物のそれぞれの役割の話をしてから、子どもたちに体験ワークで仲間分けをするようなことをしてもらいました。導入部分では、小松菜とほうれん草の違いもよくわからなかった園児も、終わりにはきちんと見分けがつくようになり、名取市ですごくよく採れるとお話をするすると、キラキラした目で聞いてくれます。

また、体の骨を作るのは、1群レンジャー、体の血や肉を作るのは2群レンジャーなどのお話をするると、子どもたちは嬉しそうにグループ分けをしてくれていました。小さいころから食育に触れることは、本当に大切だと思っていました。

○今野議長

はい、ありがとうございます。

委員の皆様の様々な活動をご紹介いただきました。

それでは次、議事(2)の協議事項に移ります。「元気なとり」食育プラン(第4次)(案)について説明をお願いします。

○事務局(矢澤)

「元気なとり」食育プラン(第4次)の前に、関連がございますので元気なとり健康21推進計画について説明させていただきます。座らせていただきます。

資料は、カラーになっております「元気なとり健康21について」と書かれている資料をお願いいたします。

今年度は食育プラン(第4次)の作成の年になりますが、同じく保健センターで所管する健康増進計画と自死対策計画を策定するところであることから、3つの計画を合わせた内容にしたいと考えております。

こちらは資料にあります丸の書いてある図を見ていただきますと、こちらの3つの計画は、健康増進計画と食育推進計画は、食を通じた健康づくりの実践というところで重なりがあります。

また、健康増進計画と自主対策計画は、心の健康づくりの推進という点で、重なりがありますので、1冊に合わせたいと思います。

また下の図をご覧ください。計画の位置付けになりますが、今年度作成を進める3つの計画は、いずれも名取市第6次長期総合計画を上位計画として、国や県の計画や名取市地域福祉計画等の関連する分野

別計画と連携、整合性を図って策定するものとなります。

次のページは計画期間になります。国の健康日本21の計画期間が令和17年度までの12年と決まりましたので、市の計画もそれに合わせることにいたしました。

中間評価も国に合わせて、令和11年度に行い、必要に応じて見直しを行っていきたいと思っております。

3番目の計画の策定体制についてですが、今年度新たに立ち上げた計画策定委員会は、各計画の協議会の代表者が会長、副会長を兼任しており、連携を図りながら策定を進めていきたいと思っております。また、策定の過程では、庁内の関係課へ説明や意見照会を行い、計画素案ができましたら、市長に提言し、市民に向けてパブリックコメントを実施したいと思っております。

4番目のスケジュールになります。10月の今日のところ見ていただきたいですけれども、今日食育推進会議を開催しております、骨子案を審議していただいております。11月には、それをもとに2回目の計画策定委員会を開催したいと考えております。1月にはパブコメを実施し、2月に3回目の策定委員会を開き、その結果報告と計画案の最終審議をお願いしたいと思っております。

続いて次のページの目次の方をお願いいたします。こちらの目次ですけれども、第1章には計画の策定の趣旨、位置付け、期間が載ります。

第2章には名取市の現状となりますが、そちらの2の(6)の方には食の現状というところで、食の方の詳しいデータが載ることになります。

第3章には、健康プラン21(第3次)が載りまして、第4章に「元気なとり」食育プラン(第4次)、第5章に名取市自死対策計画(第2次)となります。

このような計画の構成で考えているところです。以上です。

○事務局(大内)

それでは続きまして、「元気なとり」食育プラン(第4次)の案についてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、構成ですけれども、1.前計画の評価、2.基本方針・基本目標、3.施策体系、4.数値目標、5.施策の展開となる予定です。

開いていただきまして、「1.前計画の評価」ですが、初めに、「元気なとり」食育プラン(第3次)の基本方針・基本目標を記載し、アンケート及び調査の配布数及び回収数・回収率について記載いたしました。修正版にはアンケート配布数は3008と修正させていただいております。

続きまして、次のページをご覧ください。こちらは、第3次の最終評価報告と同じものを記載する形で載せております。

続いて次のページをご覧ください。こちらの表ですけれども、平成31年度から令和4年度活動と、令和5年度活動予定を記載しております。活動はライフステージごとに記載しており、妊娠期から乳幼児期、学童期・思春期、青年期・壮年期・高齢期の記述を記載させていただいております。

それぞれのライフステージの特徴に合わせた取り組みを記載しておりますが、すべての取り組みについて記載が難しかったため、抜粋したものとなっております。

続きまして、「2.基本方針・基本目標」をご覧ください。

こちらですが、「元気なとり」食育プラン(第3次)や国、県の食育に関する計画と照らし合わせて設定いたしました。

基本方針ですが、「市民一人ひとりが「食」を生きる上での基本としてとらえ、健全な食生活と心身の健康増進を目指す」。2つ目、食を通じた体験、地域の食材や食文化への理解と継承を通して、豊かな人間形成を図る」とし、基本目標を、「乳幼児期から健全な生活リズムと食生活を身につける」、「自

身の身体の状態を理解し、健康づくりのための「食」を実践する」、「食に関する正しい情報を、多様なツールを活用して習得し、健康な食生活に繋げる」、「食の体験を通して地産地消や食環境、食の安全・安心について知識を深める」、「家庭や地域等の交流から、多様な食文化を継承する」、とします。

また、①生活習慣病予防及び重症化予防に繋がる食育の推進、②ライフステージや自身の生活に合わせた食育の推進、③地域の食材や食文化への理解を深め、次世代への継承に繋がる食育の推進の3つを、第4次計画における重点課題としてとらえ、食育の推進を図ります。

続いて「3、施策体系」をご覧ください。先ほどお話しをしました、基本目標を達成するためにどのような取り組みをしていくかを、1枚にまとめたものです。

真ん中にあります主要施策ですが、こちらは食育プラン（第3次）と同様に、ライフステージごとの特徴に合わせた取り組みや、すべてのライフステージに係る食環境整備、情報発信等を含めて、関係機関と連携し、行っていくという形で示させていただいております。

続いて「4、数値目標」をご覧ください。「元気なとり」食育プラン（第3次）の評価及び、国で示しています、第4次食育基本計画等の方針を踏まえ、「元気なとり」食育プラン（第4次）では、表の通り、目標値を設定し、取り組みます。重点課題に連動するよう7つの目標を掲げ、連なるように評価項目並びに対象を設定しました。

中間値並びに目標値についてですが、国や県の目標値の動きを参照し、増加を目指す項目に関しては、1割増、減少を目指す値に関しては、2割減として考えました。

一部の中間値ですが、食育プラン（第3次）の令和5年度目標値達成だった数値を設定し、目標値はそこから1割の増加と設定いたしました。

備考にあります、元気なとり食育健康プラン 21（第三次）と連携についてですが、元気なとり健康プラン 21（第三次）でも設置目標がありますので、こちらも食育プランも含めて包括的な取り組みができるように設定しているため、記載させていただいております。

続いて「5、施策の展開」をご覧ください。はじめに、食育プラン（第4次）を効果的かつ効率的に推進できるよう、計画の推進体制、続いて、食育推進会議の開催並びに計画の進行管理について記載しております。

次のページをご覧ください。次のページからはライフステージごとの特徴と目標、主な対策を記載しております。ライフステージは、妊娠（胎児）期・乳幼児期、学童期・思春期、青年期・成人期・高齢期の3つに設定しております。また、その他としまして、食環境整備や情報発信、地域の食材を活用した取り組みということで、こちらも挙げております。

以上で、元気なとり食育プラン（第4次）（案）について説明を終わります。

○今野議長

ありがとうございました。

事務局より「元気なとり」食育プラン（第4次）（案）についてご説明いただきました。

これより協議に入りますが、先ほどのようにご意見の方をいただきたいと思いますが、ボリュームがありますので、分けて進めたいと思います。

まず初めにその前計画の評価です。1ページは第3次の内容がありますので、飛びまして、「2、基本方針・基本目標」こちらにつきまして、ご意見をいただきますが、まず私の方からよろしいですか。

(3) 第4次計画における重点課題の③のところですが、地域の食材や食文化について理解を深めるという項目で、その下の箱のところ見ますと、笹かまぼこや、貝類やしらすなどの海産物、野菜としては小松菜やチンゲン菜などと具体的に記載あります。提案で、米についても記載したらどうか。当たり前だから気づかないと言えばそれまでですけど、米は名取でも地域の食材の誇れるものだと思いますので主食をしっかりと食べるという点でも、食料自給率の向上という点でも、そこに触れても良いかと思えます。

○名取市食と生活を考える会 山田委員

愛島では春にタケノコが取れるので、地場産品って言ったらタケノコとかも入れていただいた方がいいのかなと思います。いかがですか。

○事務局（大内）

はい、ありがとうございます。食材を今回ピックアップさせていただいたところ、やはり有名などころというところですけども、お米というところも内部の方で、話し合いたいと思います。

タケノコについても愛島で有名なので、でこちらも検討したいと思います。

どうぞよろしく願います。

○今野議長

よろしく願います。

「2、基本方針・基本目標」についてはよろしいでしょうか。

○農林水産課 相澤委員

「2、基本方針・基本目標」の、その前のところについてです。

ライフステージの平成31年から令和4年度活動5年度のものですが、確認ですけども、その体験学習の野菜栽培とその括弧書きで畑づくりってあるのですが、次のページの体験学習のそこには、野菜づくりってはっきり書かれています。畑は作らないので、野菜じゃないかなという点が1つ。

あと、次のページの農家見学ってあるんですけど、農家の家を見学するのか、何を言っているのかここが不明です。農作業を見学するのか、農作業を見学するのか、書き方の問題ですけど、次のページの体験学習でただ餅つきって書かれていますのでこれは一体何なのかなと思、ここの表現は直した方がいいと思います。

確かこれについては、大分前にもそのように言ったことあるような気がするのですが。

例えば18歳以上ですから、家庭菜園とか。そちらの野菜を作り体験にした方が、本来いいのかなと思った次第です。以上です。

○事務局（大内）

はい。ご指摘ありがとうございます。

確かにこちらの記載の方ですが、各施設や当団体の方からいただいた部分で、そのまま計上しているというところがありました。

中身については精査させていただいて、標記をさせていただきますので、こちらの方改めていただきます。ありがとうございます。

○今野議長

それでは戻りまして、「3、施策体系」及び「4、数値目標」について委員の方から質問やご意見はありますでしょうか。

では、わたしの方から、野菜の増加目標で、小学4年生が男女で評価項目が分かれています。
女子は4皿以上、男子は5皿以上と分かれているのが今までの流れですが、こちらはそのまま続けて進めていくのでしょうか。
しかも、4年生の男女で違う評価・指標ですけれども、そこはそのままでしょうか。

○事務局（大内）

はい、ありがとうございます。

こちらについては男女で実際の体格差があるというところがありました。

そこを踏まえて、以前も換算した時に、野菜の量については、男子と女子でそれぞれというふうな形で換算しておりましたので、このまま継続で女子 280g、男子については 350g 以上ということしていきたいと考えておりました。

○今野議長

はい。他にご質問やご意見ございませんでしょうか。

では、次に移ります。

最後に「5、施策の展開」について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

○下増田小学校 桑原委員

下増田小学校の桑原と申します。

学童期・思春期の②主な対策の部分になります。

一番下の適正体重から外れている子どもを対象とした栄養指導・栄養相談を実施しますというふうにご考えておられますけれども、お聞きしたいのですが、これは具体的にはどのような形で実施するのかということですか。

適正体重から外れているというのは、肥満度 20%以上の児童を対象とすると、20%以上は意外と多く、体格がちょっところっとしてるかなっていう子は、結構すぐ 20%超えてしまうので、どの程度を対象としていくのかということについて教えていただきたいと思います。

あとどのように実施していくのかですね。

○事務局（大内）

はい。まず1点目ですけれども、指導については学校でもう栄養士や保健室の先生方も対応されているかと思えます。

学校ごとに行われているものについては、継続して栄養指導等行っていただきたいというところですが、保健センターとしましては、学校と連携した際に、こちらでもご協力できればというふうな体制づくりを踏まえて、栄養指導を実施したいと記載をさせていただいております。

2点目、適正体重ですが、肥満度 20%というお話をいただきました。

こちらは基本的には 20%全員というわけではなく、必要な児に対して適時行っていきますし、肥満だけではなく痩せというお子さんもいらっしゃると思います。そこについても、必要に応じて、対象として行うということになります。以上です。

○下増田小学校 桑原委員

それはその保護者の方から相談を受けて、こちらでももちろん話しはしますが、相談できる窓口として、保健センターさんを案内してもいいということでしょうか。

○事務局（大内）

できればそこまで連携をとることができればということは考えておりました。

こちらの方としても市民に対しての栄養指導という業務の範囲になりますので、連携できればと思います。

○今野議長

他にご質問はございませんか。

○生涯学習課 佐藤委員

生涯学習課の佐藤でございます。

計画期間ですけれども、前は5年、今回は12年の長期ということで事前に説明を受けて、国の健康日本21に合わせて3つの計画を合わせるということでこういった長期になったのかなと思います。

実際に国の健康21では17年と言えば17年の指標とかですね、そういった目標値があって、こちらの方の目標値、令和17年の数値を設定したのかどうかというところを確認したかったのですが。

○今野議長

事務局の方でお願いいたします。

○事務局（矢澤）

健康プラン21に関してですが、17年までということで国の方ではなされておまして、15年の値を使って16年に分析をして、17年までの計画という形で詳しく指定されているような中身ではありませんでした。

ただ、食育プランと自死対策計画に関しては、概ね5年で、また大綱なり、新たな動きがある可能性がありますので、そこは中間評価のところで見直しをかけるという形をとりたいとは思っておりました。

○生涯学習課 佐藤委員

はい、ありがとうございます。

ちなみにこの目標値は機械的にずらして、減らしていったというか、中間値11年と17年っていうところで、設定はしてあるみたいですが。

こういった数値は機械的に、17年度こうあるべきだというものではなくて、11年に設定した数値からさらに何%減らしているとか、どのような考え方で、設定したのかというところを教えてください。

○事務局（大内）

はい。こちらについてですけれども、上昇する数値については基準値から10%で中間値、中間値から10%は目標値という形で設定をさせていただいております。

下げることについても、基準値から2割減、中間値から2割減という形で計算を考えております。

○今野議長

はい。ありがとうございます。

では、渡部様、お願いします。

○宮城県仙台保健福祉事務所 渡部委員

意見というか要望です。

食育プランを推進していく上で、従来進めてきた個人の意識・行動変容をするっていうところとあわせ

て、健康に良い行動が取れるような環境整備ってというのがすごく重要になってくるのかなと思っておりました。

名取市さんの方は従来から県内でも先進的な取組みの「元気なとり」減塩プロジェクトであったり、食環境を整備するような活動をされているので、ぜひ次のプランでも積極的に続けていただければなという、要望をお話させていただけたらなと思います。

○事務局（熊谷）

減塩プロジェクトの方ですが、おかげさまで健民大賞ということで、令和4年度で受賞させていただきました。

プロジェクトという名前がついておりましたので、達成をせずずっと何年もプロジェクトを続けていますということは、あまりにも説得力がないのではないかなというところもありました。

一旦それについては第3次のプロジェクトということで、第4次の方には減塩プロジェクトという名前は出してはいないですが、引き続きそれは課題ととらえております。

減塩に関しては取組んで参りますし、やはり肥満対策というのも、第4次はしっかり取り組んでいきたいなというところもございます。

決してプロジェクトの方は今後行わないというわけではなく、今後も取り組みたいと考えております。以上です。

○今野議長

他にご質問・ご意見ございますか。

○高館小学校 萱場委員

高館小学校の萱場と申します。

質問ですが、「5、施策の展開」の(2)学童期・思春期のところで、肥満度20%以上の者の割合で設定されている点です。具体的なものは実際小学5年生で、他のところ、実際は小学校4年生ってなっているのですが、これは4年生の時に、例えばいろんなところを考えて5年生的に肥満度20%超えていたとか、そういう意味合いで5年生ってなっているのですか。

○事務局（大内）

はい。こちらの方ですけれども、2次の時点から5年生という形で取らせていただいております。

継続したプランという形だったので、こちらも変更せず10歳、小学校5年生ということで考えております。

○高館小学校 萱場委員

4年生だけではなくて実際は5年生ということですか。

○事務局（大内）

はい。

○高館小学校 萱場委員

ありがとうございます。

○今野議長

4年生は（10歳）、5年生となっているので、5年生は（11歳）ではないかと、そういうことではないでしょうか。

○事務局（熊谷）

大変失礼いたしました。

国の方で、小学5年生を10歳としてとらえている表記がありました。

私の感覚でも10歳といえば小学4年生という感覚がございます。

ですので、今回も対象として書く時に悩んだところではあったのですが、今までの経過をそのまま載せていって経過が見られるようにということで、対象はあくまで小学5年生を対象としますが国に合わせて10歳という表示をさせていただきました。

朝食を毎日食べる子どもの増加については、小学4年生これが、国の方ではなく市の方の独自の項目になるのですけれども、小学5年生として過去10歳という形で、標記が分かり難いですが、適正体重の10歳の男子をとるけど、対象は4年生ではなくて5年生の方という見方になります。

大変申し訳ありませんが、そういった解釈であることをご了承ください。

○今野議長

はい。記載を統一したらいかがでしょうか。

小学5年生を頭に持ってきて、括弧書きで10歳など。小学5年生は基本なのですよ。

○事務局（熊谷）

はい。それは確かにその通りでございます。

こちらも統一して、適正体重を維持する児童のところに関しましては、最初に小学5年生というふうに表記の方を修正させていただきます。大変申し訳ございませんでした。

○今野議長

はい。他にご意見よろしいでしょうか。

では、一般公募の武田様よろしく申し上げます。

○一般公募武田委員

武田です。

場違いな内容の話だったら、大変申し訳ございません。

今回の第3次の方で最終評価報告書の方を見させていただいて、前回の時の「元気なとり」食育プランの方と照らし合わせて見ていたのですけれども、結果のところ、例えばこの15ページです。肥満度20%の割合、これですと、平成30年・令和2年・令和4年です。

比較はとても大事だと思いますから、比較できるものがあれば、やっているのであれば、時代背景をとっても受けるものであります。比較することは大事なので、やっているものはその以前のものも一緒に載せることはいかがでしょうか。逆に混乱するのかどうか分からないのですけれども、そう思いました。

あとは比較できるものは他ないのですけれども、できるものがこの実際のところだけにはなりますが。

○今野議長

事務局の方からお願いできますでしょうか。

○事務局（大内）

はい、ありがとうございます。

記載についてですが、平成30年度から記載させていただいておりますのは、こちら3次の期間として記載をさせていただいております。

今意見いただいたところについてですけれども、その数字の部分や表記などは、今すぐには変えられないので検討させていただいても大丈夫でしょうか。

○今野議長

ありがとうございました。

他にご質問ご意見等はございますでしょうか。

それでは事務局の方にお返ししたいと思います。

○事務局（熊谷）

議長、ありがとうございます。

最後に、その他でございますけれども、事務局からは特に用意はございません。

委員の皆様からは何かございませんか。

特にないようでございますので、閉会の挨拶を山田副会長お願いしたいと存じます。

よろしく願いいたします。

【閉会】

○食と生活を考える会 山田委員

本日は会議がスムーズに進行されましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回の食育アンケートの結果や皆様のご意見を踏まえて、来年度から新たに「元気なとり」食育プラン（第4次）が始まります。

各委員の皆様も、市民の健康の保持・推進のために、食育推進に取り組んでいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。お疲れ様でした。

○事務局（熊谷）

それでは以上をもちまして、令和5年度、名取市食育推進会議を以上とさせていただきます。

送付しておりました意見書の方で回収させていただきたいと思いますので、お帰りの際に、職員の方に渡していただければと思います。よろしく願いいたします。

記録：長根